

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	さんすまいる新宮キッズ			
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～	令和7年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 17日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・1対1での個別の療育を行うことで支持が入りやすく、できることを増やしていくことができること。	・ご利用者の成長に合わせて、支援内容を変えて行っている。 ・その日の体調や気持ちに合わせて、臨機応変に支援内容を変更しております。	・楽しんで行える支援内容に繋げるため、工夫やアイデアが出せるよう職員間でも情報を共有し、支援に反映させていきます。
2	・目に見える形で今後の予定や行動の連なりを提示し、安心感や行動の見通しを提供していること	・今日の予定をホワイトボードや絵カードを使用したり、タイマーを設定して達成感や見える化を図っております。	・見て行動して、楽しいと思えるような内容をスケジュール表にし、作っていきたくております。
3	・給食を提供していること	・アレルギーの対応やご年齢に合った食事量を調整し、提供しております。	・定期的にアンケートを取り、食事の楽しみや美味しい給食が提供できるよう、努めて参ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ないこと	・コロナがきっかけにより地域社会との結びつきが弱まっております。また、地域で生きていくための土台作りとして何が必要とされているかを把握することが課題をなっています。	・外出イベントを増やし、地域のこどもとふれあえる機会を設けていきます。 ・身近な地域コミュニティの情報を得て発信したりと職員が意識して関係を築いていくことが必要だと思います。
2	・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の機会が少ないこと	・送迎時や連絡帳、電話で行っており、支援が充実していない点です。	・保護者様同士の交流や研修の要望が多数の場合、企画して実施したいと考えております。